2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ライトアップ　　上場取引所　東
コード番号　　6580　　ＵＲＬ　https://www.writeup.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）白石　崇
問合せ先責任者　（役職名）取締役最高財務責任者　　（氏名）村越　亨　　ＴＥＬ　03-5784-0700

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,081	△46.9	△179	－	△177	－	△131	－
2026年３月期中間期	2,034	20.8	311	180.0	316	172.7	197	190.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△134百万円　（△166.4%）　2026年３月期中間期　203百万円　（225.6%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△26.21	－
2026年３月期中間期	38.50	38.45

（注）2027年３月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	3,407	2,943	86.4
2026年３月期	3,787	3,290	86.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,943百万円　2026年３月期　3,290百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	14.00	14.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	19.00	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,600	30.4	705	50.1	695	42.8	482	86.8	94.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,806,000株	2026年３月期	5,806,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	835,384株	2026年３月期	681,384株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,017,656株	2026年３月期中間期	5,122,819株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（中間連結損益計算書に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、原材料・エネルギーコストの高止まり、中東情勢や米国の通商政策などの動向等による影響など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは当社の「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念に基づいて各事業に取り組んでまいりました。その結果、当中間連結会計期間の売上高は1,081,436千円（前年同期比46.9％減）、営業損失は179,166千円（前年同期は営業利益311,599千円）、経常損失は177,445千円（前年同期は経常利益316,886千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は131,503千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益197,237千円）となりました。

なお、今期の売上予算につきましては、ＡＩ技術の急速な進展を踏まえ、上半期を自社ＡＩサービス群の開発及び市場投入に向けた先行投資期間と位置付け、開発や営業の人員など人的資源を重点的に投下することとしており、その成果が顕在化するのは下半期以降となる見込みであることから、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりです。

ＡＩソリューション事業におきましては、より一層安定的な成長基盤を確立するため、これまで培ってきた中小企業支援の実績を基盤として、より収益性が高いＡＩを活用した新たな経営支援サービスの開発と提供に注力し、資金面の支援を軸とした従来の主力サービスからの事業構造の変革と収益力の強化を加速させております。当中間連結会計期間は、「ＡＩ　ＳａａＳ」、「ＡＩ人材育成」、「ＡＩ運用代行（ＢＰＯ）」、「ＡＩ開発支援」の４つの領域を中心に、自社ＡＩサービス群の開発とその市場検証を行うための試験的な販売活動に人員を重点的に再配置するなど、先行投資期間と位置付けて事業運営を行ってまいりました。これまでの収益の柱であった主力サービス、及びＡＩ関連サービスのうちＡＩ人材育成支援（研修等）の売上が減少したことから、前年同期と比べて減収減益となりました。

この結果、同セグメントの売上高は977,381千円（前年同期比48.7％減）、セグメント損失は36,675千円（前年同期はセグメント利益457,774千円）となりました。

その他の事業における当中間連結会計期間の売上高は104,054千円（同19.4％減）、セグメント損失は7,242千円（前年同期はセグメント利益10,503千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は2,890,463千円となり、前連結会計年度末に比べ409,644千円減少致しました。これは主に、売掛金が51,024千円、その他に含まれる前払費用が52,952千円増加した一方で、現金及び預金が518,065千円減少したことによるものであります。固定資産は517,156千円となり、前連結会計年度末に比べ29,804千円増加致しました。これは主に、投資その他の資産のその他に含まれる長期未収入金が10,506千円、繰延税金資産が48,834千円増加した一方で、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェア仮勘定が14,944千円減少、資産の控除項目である貸倒引当金が11,563千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,407,619千円となり、前連結会計年度末に比べ379,839千円減少致しました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は463,033千円となり、前連結会計年度末に比べ31,592千円減少致しました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金が87,478千円増加した一方で、未払法人税等が65,720千円、契約負債が37,018千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税が10,787千円減少したことによるものであります。固定負債は1,446千円となり、前連結会計年度末に比べ867千円減少致しました。これはリース債務が867千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は464,479千円となり、前連結会計年度末に比べ32,460千円減少致しました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は2,943,139千円となり、前連結会計年度末に比べ347,379千円減少致しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純損失131,503千円、自己株式の取得141,660千円及び剰余金の配当

71,744千円によるものであります。
この結果、自己資本比率は86.4%（前連結会計年度末は86.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ518,065千円減少し、2,063,688千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は285,708千円（前年同期は獲得した資金51,430千円）となりました。これは主に、未払金の増加額93,048千円に対し、税金等調整前中間純損失177,445千円、その他資産の増加額61,711千円、法人税等の支払額60,032千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は23,198千円（前年同期比56.0%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出11,567千円、投資有価証券の取得による支出10,200千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は209,159千円（同132.5%増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出141,660千円、配当金の支払額68,066千円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、2026年５月15日に「2026年３月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,581,754	2,063,688
売掛金	646,920	697,944
仕掛品	1,068	1,909
貯蔵品	480	648
その他	95,108	147,173
貸倒引当金	△25,224	△20,901
流動資産合計	3,300,107	2,890,463
固定資産		
有形固定資産	26,945	27,987
無形固定資産		
その他	157,639	138,207
無形固定資産合計	157,639	138,207
投資その他の資産		
その他	433,712	493,470
貸倒引当金	△130,945	△142,509
投資その他の資産合計	302,766	350,960
固定資産合計	487,351	517,156
資産合計	3,787,459	3,407,619
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,617	27,843
未払法人税等	69,750	4,030
契約負債	196,031	159,013
その他	197,225	272,146
流動負債合計	494,625	463,033
固定負債		
リース債務	2,314	1,446
固定負債合計	2,314	1,446
負債合計	496,939	464,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	3,027,560	2,821,338
自己株式	△415,859	△553,544
株主資本合計	3,302,363	2,958,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,844	△15,316
その他の包括利益累計額合計	△11,844	△15,316
純資産合計	3,290,519	2,943,139
負債純資産合計	3,787,459	3,407,619

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,034,707	1,081,436
売上原価	282,845	276,568
売上総利益	1,751,861	804,867
販売費及び一般管理費	※ 1,440,261	※ 984,033
営業利益又は営業損失（△）	311,599	△179,166
営業外収益		
受取利息	2,655	3,725
助成金収入	－	11,226
補助金収入	3,821	－
その他	1,035	669
営業外収益合計	7,511	15,621
営業外費用		
支払手数料	660	458
損害賠償金	－	11,709
投資事業組合運用損	1,535	1,727
その他	29	4
営業外費用合計	2,224	13,900
経常利益又は経常損失（△）	316,886	△177,445
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	316,886	△177,445
法人税、住民税及び事業税	109,028	1,295
法人税等調整額	10,621	△47,236
法人税等合計	119,649	△45,941
中間純利益又は中間純損失（△）	197,237	△131,503
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	197,237	△131,503

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	197,237	△131,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,157	△3,472
その他の包括利益合計	6,157	△3,472
中間包括利益	203,394	△134,976
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	203,394	△134,976

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	316,886	△177,445
減価償却費	25,015	28,372
のれん償却額	4,790	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	65,998	7,239
受取利息及び受取配当金	△2,979	△4,049
投資事業組合運用損益（△は益）	1,535	1,727
売上債権の増減額（△は増加）	2,495	△51,024
破産更生債権等の増減額（△は増加）	△214	△1,056
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,202	△1,008
仕入債務の増減額（△は減少）	△18,163	△3,774
未払金の増減額（△は減少）	89,620	93,048
契約負債の増減額（△は減少）	△114,018	△37,018
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△66,946	△61,711
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△33,485	△22,409
小計	271,735	△229,108
利息及び配当金の受取額	2,522	3,431
法人税等の支払額	△222,833	△60,032
法人税等の還付額	4	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,430	△285,708
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,412	△3,856
無形固定資産の取得による支出	△27,825	△11,567
投資有価証券の取得による支出	△5,500	△10,200
敷金の回収による収入	20	2,425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52,718	△23,198
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	－	1,002
自己株式の取得による支出	△41	△141,660
配当金の支払額	△89,062	△68,066
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△867	△433
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,971	△209,159
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△91,259	△518,065
現金及び現金同等物の期首残高	2,722,706	2,581,754
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,631,446	2,063,688

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他	合計
	ＡＩソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	1,368,996	129,095	1,498,092
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	536,615	－	536,615
顧客との契約から生じる収益	1,905,611	129,095	2,034,707
その他の収益	－	－	－
外部顧客への売上高	1,905,611	129,095	2,034,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	1,905,611	129,095	2,034,707
セグメント利益	457,774	10,503	468,278

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	457,774
「その他」の区分の利益	10,503
全社費用（注）	△156,678
中間連結損益計算書の営業利益	311,599

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント	その他	合計
	ＡＩソリューション事業		
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	621,035	104,054	725,089
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	356,346	－	356,346
顧客との契約から生じる収益	977,381	104,054	1,081,436
その他の収益	－	－	－
外部顧客への売上高	977,381	104,054	1,081,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	977,381	104,054	1,081,436
セグメント損失（△）	△36,675	△7,242	△43,917

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△36,675
「その他」の区分の利益	△7,242
全社費用（注）	△135,248
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△179,166

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）
※販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
給料及び手当	300,693千円	258,923千円
支払手数料	107,308	101,650
販売促進費	415,485	103,393
業務委託費	202,228	224,744
貸倒引当金繰入額	65,998	7,239